

KYOTO PREFECTURAL
COLLEGE OF
AGRICULTURE
SCHOOL GUIDE

2025 学校案内

2024 活動記録

農業
やろうよ。



京都府立農業大学校



京都府内での
農業の担い手を目指して！



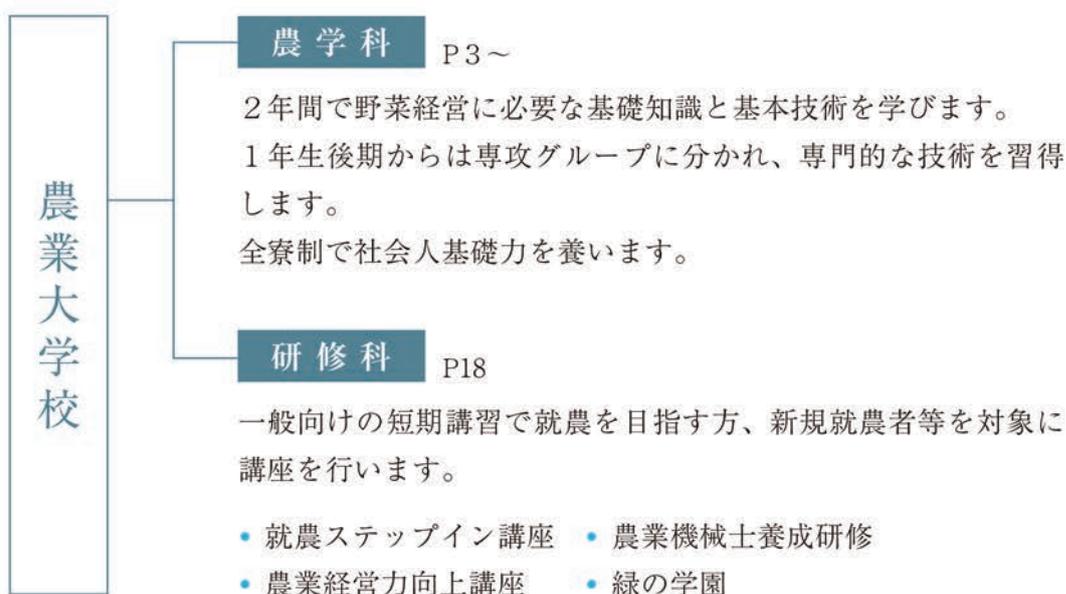
沿革

1920年に京都府立農事練習生制度として愛宕郡下鴨村に発足し、1940年には何鹿農道館が何鹿郡以久田村に設置されました。幾多の変遷を重ね、1973年に京都府立高等農業講習所として現所在地綾部市位田町に設置された後、1981年に京都府立農業大学校となり、2020年には100周年を迎えました。

目的

京都府で農業を志す者及び農業者に対し、農業に関する技術や知識を習得するための教育や研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成します。

組織



施設の概要

教育棟、研修棟、体育館、寮、実習用ほ場・ハウス等必要な施設を備えています。

敷地面積 約7 ha

実習ほ場 約4 ha

ビニールハウス 27棟

ガラスハウス 4棟

農 学 科

修学年数 2年（全寮制）

定 員 1学年20人

特色と魅力

豊かな自然に囲まれた環境で充実したカリキュラムの実施

- 約6割以上を実習にあてた実践型カリキュラム
- 農業生産の専門的科目を中心にした座学
- 広いほ場での実習と連携した座学を行い、幅広い視野の知識と方法論を習得

現実的な農業経営学習の実施

- 小売店や市場への出荷、対面販売実習を通してのマーケティング学習
- 自らの生産物に対し、経営指標を活用した経営分析等を実施

広い敷地で少数濃密指導

- 指導職員一人当たりの学生数を絞った指導
- 学生一人でビニールハウス1棟ほかを管理

全寮制での生活

- 幅広い人間関係とコミュニケーション能力の習得
- 規則正しい生活と自立性の確保
- 防犯安全性の確保

多様な免許・資格の取得

- 就農に必要な資格等を多く取得

キャリア支援

- 先進農家等へのインターンシップにより、実際の農家の技術・知識等を学習
- 就業を見据えた農家体験実習を支援
- 本人の意向等をしっかり聞き取り、就職活動を強力サポート

京都府関係機関が連携・支援

- 府内7カ所にある京都府農業改良普及センターが就農した卒業生を密着支援
- 京都府内の大学や京都府農業研究機関等から授業講師を派遣

学費等負担軽減措置

- 公立ならではの負担の少ない入学金・授業料の設定
- 入学金・授業料の貸付制度を設置。要件を満たせば全額返還免除
- 世帯要件により授業料減免制度あり

入学金 5,650円

授業料 年間118,800円

授業料のほか、その他諸経費（教科書、実習服、各居室電気代、後援会費など）が必要です。学生寮における食費も自己負担となります。

奨学金制度等

修学資金制度

授業料及び入学金の貸与制度。卒業後5年間京都府内で就農した場合は返還免除になります。

授業料減免制度

授業料の全部若しくは一部の減免を受けることができます。

農業次世代人材投資事業（準備型）

在学中の生活費として資金を受給することができます。ただし、卒業後1年以内に就農し、一定期間継続する必要があります。

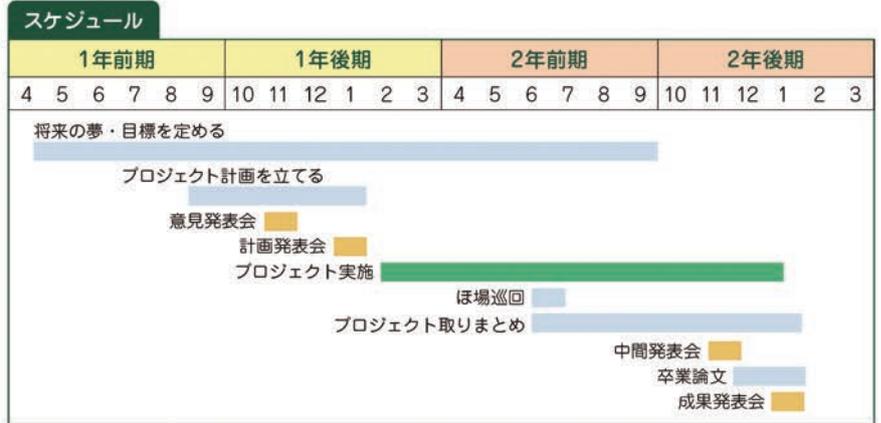
授業科目（令和7年度授業科目）

教養科目	国語ⅠⅡ 情報処理ⅠⅡ 農業基礎	専攻科目 野菜経営 コース	園芸演習、葉根菜類 果菜類、花き類 園芸施設概論ⅠⅡ 園芸経営ⅠⅡ
共通科目	農業簿記、経営分析 植物生理ⅠⅡ、農薬基礎、作物概論 園芸概論（野菜・花き）、茶業概論 農業経営、作物保護 農業機械、農業機械操作論 土壌肥料、農産加工・調理 農学実験、就農計画、農政時事 気象学、スマート農業、市場流通論、 マーケティング論 農業生産工程管理（GAP） 農業生産工程管理（GAP）演習 主体性開発プログラム	専攻科目 茶業経営 コース	茶業演習 茶生産ⅠⅡ、茶製造 茶病害虫・茶土壌肥料 茶審査、製茶化学 茶経営ⅠⅡ
		実習 共通	基本実習 専門実習 作物実習 農家派遣実習

農学科の取組、専攻グループの特徴

実践プロジェクト学習

2年生では1人で管理するハウスやほ場で、学生が自ら設定した課題を実践し、結果をとりまとめることで課題の解決方法や栽培技術を習得し、同時に農業経営力を養います。



◆ 野菜経営コース

1年生ではグループ単位で作物の栽培、管理、収穫などの実習を行い、幅広く栽培の基礎技術を学びます。1年後期からは4つの専攻グループに分かれ、専門性の高い栽培技術や農業経営等の習得に取り組みます。

専攻グループ紹介

施設野菜グループ



特徴

- ・ トマトやメロンなどの果菜類を中心に、養液栽培の栽培技術習得を目指します。
- ・ また、積算温度から収穫適期を判断し、収穫物の糖度を調査するなど、科学的な知見に基づいた栽培技術習得を目指します。
- ・ 養液栽培とは対極にある有機農業での栽培実践を行っており、化学農薬や化学肥料を用いない農業技術の習得を目指します。

実践プロジェクト課題の例

- ・ 高糖度トマトの栽培方法の模索
- ・ メロンを基幹品目とした再生産可能な経営の模索
- ・ トマトの長期多段取り栽培と補完品目の模索

伝統野菜グループ

特徴

- ・ 鹿ヶ谷かぼちゃや聖護院だいこん、えびいも等の京の伝統野菜の栽培技術の習得を目指します。
- ・ 栽培だけではなく、調理・試食も行い伝統野菜の魅力の発見とPRも行います。
- ・ 万願寺甘とうやみず菜等を経営の柱に組み込みやすい京都らしい野菜にも取り組みます。

実践プロジェクト課題の例

- ・ 京の伝統野菜とサツマイモ
- ・ 賀茂なすを中心とした栽培



野菜・花きグループ

特徴

- 野菜と花きの複合経営及び技術の習得を目指します。
- 実践プロジェクトの品目はキュウリやトマトなどの果菜類をはじめ、切り花や花壇苗などの花き類を組み合わせたことが特徴です。
- 地域主催の花壇制作も参加し、地域貢献も行っています。

実践プロジェクト課題の例

- 物日に向けた花栽培とバラの周年栽培（品目はバラ、ハボタン、コギク、ハクサイ、ホウレンソウなど）
- 野菜と四季折々の花壇苗の複合経営（品目はナス、花壇苗など）
- ヒマワリを中心とした野菜・花き栽培の複合経営の検討（ヒマワリ、トウガラシ、ストックなど）



露地野菜グループ

特徴

- 露地畑ではキャベツ、ハクサイ、ブロッコリーなど土地利用型作物を、パイプハウスではホウレンソウなど葉菜類を栽培しています。
- 露地畑の実習は天候に左右されますが、トラクター、管理機、動力噴霧器など農業機械を利用して操作方法を学びながら安定生産技術を習得します。

実践プロジェクト課題の例

- 就農を目指した万願寺とうがらしの露地栽培を中心とした経営評価
- 観光農園を想定したミニメロンの栽培検討



◆ 茶業経営コース

令和8年度入学生から募集を一時停止しています。

煎茶、玉露の栽培・製造技術の習得、茶の品質評価、効能など緑茶全般について学びます。

2年生では1人当たり20a程度の茶園管理と施設や露地野菜生産を担当し、茶と野菜の複合経営を実践できる技術を身につけます。



販売実習

自分たちが栽培した野菜を直接販売し、消費者の声を聞きマーケティング学習を行います。



学生主体性プログラム

JICAが採用しているPBL (Project-Based-Learning) 手法を参考にした「学生主体性開発プログラム」を8年前から導入しています。



取得する機会の与えられる資格・講習など

- 大型特殊自動車運転免許（農耕用）
- 農業機械士
- 小型車両系建設機械運転技能講習
- 農業簿記検定
- 小型フォークリフト運転技能講習
- 日本農業技術検定
- アーク溶接特別講習
- 危険物取扱者（乙種・丙種）
- 狩猟免許（わな猟）
- 日本茶アドバイザー

大型特殊自動車
運転免許試験

小型フォークリフト
運転技能講習

小型車両系建設機械
運転技能講習



特別講座（キャリアデザイン）

就農・就業に必要な講座を随時開催

- 農作業安全講習
- 有機農業
- 鳥獣被害対策
- POP作成講座
- 就職セミナー
- 雇用就農人材
- 就農学習（農業者年金制度等）



学校を案内します。

約7ヘクタールの敷地面積の中に31棟のビニールハウス・ガラス温室、
約4ヘクタールのほ場・水田と茶畑・茶工場があります。



教育棟



体育館



食堂



男子寮



約8畳のひとり部屋で
ゆっくり過ごせます



10畳の
ひとり部屋です
広いですよ



女子寮



在校生からの
メッセージ

男子寮長 福居 健

私は中学生の頃から農業大学校への進学を考えており現在はその夢を叶える事ができ日々農作業を頑張っています。

農業大学校では、多くの友人と共に切磋琢磨しながら作業し、全寮制ということもあり、同じ屋根の下で過ごし毎日楽しんで生活しています。日々の実習をはじめ、2年間という短い時間の中で仲間たちと過ごす農大生活は、先輩後輩との交流がとて多く日々充実した生活を送れること間違いなしです！

農業大学校で培った技術や知識は今後の自分に必ず役に立つことが非常に多いと思います。現在私はキュウリと菊を主品目で栽培しながら多くのことを学んでいます。一日も無駄にしないような充実した生活を農業大学校で送ってみませんか？是非お待ちしております！



令和6年度 卒業生の進路

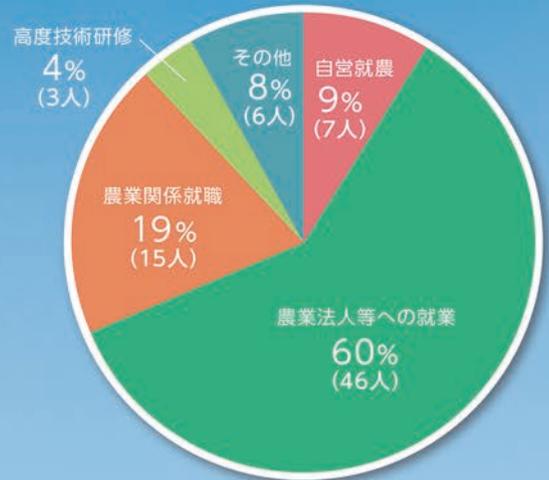
卒業生12名が新たな道へ進みました。京都府の農業の担い手として、ひいては日本の農業を支える人材として活躍してくれることを願っています。

就農・就業率 75%

自営就農	2名	綾部市、福知山市
農業法人等への就業	7名	アオック(株)、(有)あつぷるふぁーむ、(株)エッチワン、(株)京都知七、(株)渋谷農園、なががわファーム、(株)横山建設
進学	1名	専門学校
その他	2名	酒造会社、就業準備中

■過去5年間の卒業生77名の進路状況

農業関連就職率 90%超
(研修含む)



頑張っています!!
卒業生

令和5年度

卒業生



小森 芳正さん
自営就農

私は工学系大学を卒業し、社会人も経験した後、農業を学ぶために農業大学校へ入学しました。農大では、授業や実習のすべてが農業の知識、経験として吸収することができたように思います。

野菜経営コース（施設野菜グループ）に所属し、ロックウール栽培トマトを中心にとして複数の補完品目野菜栽培に取り組みました。

私の出身地は、京丹後市久美浜町で、家は兼業農家です。兄弟のうち、私が農地を引き受けて就農しました。現在は露地栽培で、キュウリ、タマネギ、エビイモの栽培と水稻をしています。今後はパイプハウスを設置して、トマト、イチゴ栽培をする計画です。地域の人たちとも協力して6次化も視野に入れて取り組んでいきたいです。



河原 凌さん
雇用就農

私は農大では野菜経営コース（野菜・花きグループ）に所属していました。実践プロジェクト学習で「6次産業に向けた野菜栽培」を課題に取り組み、スイカやメロンなどの栽培を行いました。休日にはプロジェクトで育てた作物を使ってスイーツを作ることで、作物ごとの加工との相性を確かめたり、美味しい調理方法について勉強しました。

卒業後は八幡市でイチゴの栽培・加工販売等を行っている（株）おさぜん農園に就職し、イチゴの栽培管理や観光農園の業務に携わっています。農大でイチゴは栽培しませんでした。他の作物を栽培していた経験を活かすことができています。

将来は独立したいと考えていますが、実際に働いてみて、農業経営の難しさも感じています。雇用就農で技術や知識をしっかり身に付け、将来の夢に向かって頑張ります。

研 修 科

短期

京都府内で農業を始めようと考えている方向けの講座や、農業者を対象とした安全技術、知識等の更なる習得に向けた研修等を行っています。

就農ステップイン講座

令和6年8月25日、9月8日、9月29日、10月20日、11月10日 全5日

一般府民向けに、野菜の種まきから収穫までの要点について、座学と実習により学ぶ講座を開催しています。



農業機械士養成研修

令和6年11月13日～11月21日 計7日間

農業機械に関する安全知識、整備技術、運転並びに利用技術を学びたい農業者を対象に、学科と実技を8日間開催しています。



農業経営力向上講座

令和7年1月17日、1月29日、2月5日、2月14日、2月17日

新規就農者等を対象に農業経営の考え方や基本的な知識を習得し、経営力向上を目指す講座です。



緑の学園

京都府内の農業高校と連携し、夏休みに農業機械体験を実施しています。

令和6年7月26日



